

理科(物理・化学・生物・地学) 北海道大学 総合入試【理系】、学部入試【医・歯・獣医・水産】

<全体分析>

試験時間 2科目 150分

解答形式

記述・論述・選択

分量・難易(前年比較)

分量(減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易(易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

大問数は例年通り4問であり、問題のページ数は昨年の20ページから今年は26ページと大きく増加したが、小問数にはあまり変化がなく、論述量は昨年よりやや減少したことから、全体の分量は昨年並みであった。また、昨年と比較すると難しい考察問題が減少したことから、難易度は昨年よりやや易化した。

出題の特徴や昨年との変更点

例年、知識を問う問題と考察問題がバランスよく出題され、標準的な問題が多い。

その他トピックス

特になし

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	記述 論述 選択	酵素 遺伝子	生物 基礎 ・ 生物	問2 選択肢(E)は、2種類の温度でしか実験をしていないので、もっともよくはたらく温度はこの実験のみからは判断できない。 問3 手順2の透析後の外液(溶液②)は補酵素のみを含むが、補酵素が大幅に希釈されているため、溶液⑤では二酸化炭素の発生がみられない可能性も考えられる。	やや易
2	記述 論述 選択	代謝 細胞 タンパク質 遺伝子	生物 基礎 ・ 生物	問2-2 アミノ酸の平均分子量は、ヌクレオチドの平均分子量よりも小さい。	標準
3	記述 選択	生殖 遺伝 タンパク質 進化	生物	問4-2 Aとb, aとBが連鎖している個体Mは、組換えが起こっているAとBをもつ配偶子とaとbをもつ配偶子を、同じ割合で形成する。	標準
4	記述 論述 選択	生態 進化・系統	生物	問4 (ク)・(ケ)とも、いくつかの別解が考えられる。	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・教科書レベルの基本的な知識を身につけ、その内容を正確に論述できるように練習を重ねよう。
- ・標準的な問題の演習を重ねよう。
- ・過去問の演習などを通して、北大の出題形式に慣れておこう。